



自衛隊栃木地方協力本部

ブルーインパルス飛行訓練等見学！雇用企業等研修で理解促進

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎（陸佐））は3月1日（水）、退職者雇用協力企業及び即応予備自衛官雇用協力企業を対象とした部隊研修を実施した。

本研修はコロナ禍でしばらく中断していたが、今回は参加企業4社10名が航空自衛隊松島基地を訪問した。参加者からは「自衛隊機の訓練等を間近で見学するのはとても楽しみにしていた」という声が聞かれた。

松島基地ではまず基地の概要について説明を受けた後、ブルーインパルスの飛行訓練を見学した。航空祭等で実施される演技を目前で見ることができ、その迫力や美しさに釘付けになったようだった。

飛行訓練の見学に続き、ブルーインパルスの機体を至近距離で見ることができ、参加者はいろんな角度から機体を観察していた。この他、松島基地に所属する第21飛行隊や松島気象隊を研修して、所属する隊員の専門性の高い勤務内容等に感動する場面もあった。

参加者は本研修を通じ、退職自衛隊官の雇用について改めて理解を深めた様子で「（部隊研修を）引き続きやってほしい」との感想が聞かれた。

栃木地本は「今後も部隊研修等を通じて退職自衛官の雇用及び即応予備自衛官制度への理解促進に努めていく」としている。



ブルーインパルス前で記念写真



空自隊員とF-2の前で記念写真

日本の未来を担う子供たちへ自衛隊の魅力を！

はたらくるま
in 佐野プレミアム・アウトレットの様子



軽装甲機動車の展示を
家族で楽しむ来場者



制服試着の様子



賑わいをみせる自衛隊ブースの様子

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は3月19日（日）佐野市で行なわれた「はたらくるま in 佐野プレミアム・アウトレット」に参加した。当日は警察、消防及びJAFなどの多くの車両が集まる中、自衛隊は中央即応連隊（宇都宮）の協力のもと軽装甲機動車や偵察用バイクを展示するとともに制服試着やVR体験、偵察用バイクに跨る等の体験を行った。

イベントでは大勢の子供たちが自衛隊ブースを訪れ、子供たちは「かっこいいから将来は自衛隊に入りたい」と笑顔で教えてくれた。

春のWAKUWAKU大作戦
（五十部（よべ）公園（足利市）の様子



夢中になる組み紐体験



1/2tトラック展示

また、同日、五十部（よべ）公園（足利市）で行われた「春のWAKUWAKU大作戦」にも参加し、自衛隊ブースでは制服試着、組紐等の体験及び1/2tトラックの展示を実施し、自衛隊のアピールを行った。

足利地域事務所は「今後も多くのイベントに足を運び、皆様にイベントを楽しんでもらうとともに、自衛隊の魅力をお伝えしていく」としている。